

標 題	いちご栽培環境モニタリングプロジェクトの進捗状況を生産者に広く伝える		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和5年12月4、12、13、14日	場所	西条市丹原、玉津、氷見、新居浜市金栄	
指導対象	いちご生産者（若手13人）、（親世代12人）	連携機関	JA（えひめ未来、周桑）、農産園芸課、農林水産研究所、メーカー	
普及指導内容	<p>○若手いちご生産者4人が、栽培環境モニタリング機器を活用し、光合成に最適な環境に制御することで単収向上を目指す実証プロジェクトに取り組んでおり、その活動をメンバー以外のいちご生産者に広く伝えるセミナーを4回開催した。</p> <p>○12月4日は、若手世代に絞って実施し、メンバーからデータの活用により見えてきた栽培管理の課題の報告と、現地ほ場で意見交換を行った。</p>			
結果と今後	<p>○モニタリングデータを活用していく機運が高まり、次年度に機器導入したいという若手生産者も現れた。また JA えひめ未来新居浜いちご部会は部会全体での導入を検討中。</p> <p>○親世代からは、若手世代の連帯感が強まったことで、息子の仕事に取り組む姿勢が変わった等、感謝の言葉も聞かれた。</p> <p>○プロジェクトは3月まで行い今後もメンバー以外の生産者に進捗状況を伝えていく。</p>			
				
	プロジェクトの有効性を述べるメンバー	現地ほ場で若手世代が意見交換	親世代にもプロジェクトの有効性を説明	
担当者	技師 渡邊 湧也			